

広報がもう

「このまちで、心豊かに住み続けたい」と



思える まちづくり

がまチョコ



蒲生地区まちづくり協議会 チョコットニュース <https://www.gamoyume.org>

発行者：東近江市 蒲生地区まちづくり協議会・広報企画委員会 住所：東近江市市子川原町461-1・蒲生コミュニティセンター内 TEL / FAX : 0748-55-3030



福寿草

2026 新年互礼会 ～ 天馬のごとく空を駆ける ～

毎年恒例の新年互礼会を 1 月 7 日（水）蒲生コミュニティセンターにて開催しました。

今回は久田副市長はじめ地元選出の国会議員、市議会議員の他、行政関係者、自治会長、JA 滋賀蒲生町、商工会蒲生支部、学校長、郵便局長、各種団体長、まちづくり協議会関係者など約 80 名が集いました。

例年参加いただいている上野賢一郎衆議院議員が厚生労働大臣となられ、警護の SP も来られて始めは物々しい感じでしたが直ぐにいつもの和やかな中で進行しました。

西村会長は年頭挨拶の中で、今年の干支は 60 年に一度の丙午（ひのえうま）。古い迷信ではなく、本来は勢いのある年、天馬のごとく空を駆けるように突き進んでいきたいと抱負を語りました。上野大臣からは主に厚生労働分野に関する国の動向を祝辞の中でお話いただきました。



「新春に想う」と題した話では、例年ゲストスピーカーを迎えて、その方なりの旬の話をしていただいていたのですが、今年度まち協が大阪・関西万博にガリ版を出展したことから、西村会長自らがスピーカーを務めました。蒲生支所若手職員 3 名がガリ版の万博出展に関する報告・展望をまとめて市長ら幹部職員にプレゼンテーションされた内容を引用して、今後のガリ版の取り組みについて、外に目を向けることで新たな展望が開けるのではないかと、思いを語りました。

その後は商工会蒲生支部寺嶋支部長の乾杯で懇談が始まり、蒲生産食材で作った赤飯やエジソンの愛したアップルパイ、ミニトマトや応援塾のこだわりコーヒーが振る舞われ、新年の抱負を語り合い盛会の内に幕を閉じました。【蒲生地区まちづくり協議会】



あかねふれ愛のつどい

「笑って考えよう！

子育て・介護・仕事のこと」



あかねふれ愛のつどいを12月14日(日)に開催しました。このつどいは、「心豊かに住み続けたいと思えるGAMO」を目指し、住民同士の情報交換やふれあいの場とすることを目的としています。

オープニングでは、今年度から新規メンバーを募集され県内各地で活躍されています「あかねジュニアバンド」の皆さんが「ファンファーレ」「ポリウオリドゥゥル」「風になる」「アフリカンシンフォニー」の4曲を演奏され、迫力ある音色に会場が魅了されました。

講演会では「笑って考えよう！子育て・介護・仕事のこと」と題して東京大学大学院教授の「瀬地山(せぢやま)角」氏にご講演を賜り、内容は「ジャンボ宝くじが必ず当たる方法があるそれは何か？ 答えは夫が家事を手伝うことにより妻の30代からの就職です。正社員で約30年勤めると1~2億円ほど稼げる」という言い換え論です。教授の肩書がありながらも、おもしろ、おかしく、わかりやすいジェンダー論のお話をお聞きしました。



【あかねふれ愛のつどい実行委員会】

蒲生の未来を考えよう！

蒲生西小6年生発表会

12月11日(木)蒲生西小学校で地域学習を一層深めるため「蒲生の未来を考えよう」と題して6年生の発表会が開催されました。この発表会では、全6年生が15班、4教室に分かれて発表されました。まちづくり協議会からも「蒲生の将来のまちづくり」の参考にさせてもらうため、役員6名が参加しました。

発表内容では、近江鉄道利用促進、豊かな歴史遺産、より良いまちづくり、地産地消、空き家対策、農業改善、伝統芸能、交通安全対策など蒲生の特性を活かしたアイデアが次々と提案されました。

この発表会の素晴らしいアイデアを参考にさせてもらい、将来のまちづくりにつなげていきたいと考えています。



【蒲生地区まちづくり協議会】

蒲生の文化財

31

蒲生地区まちづくり協議会
(万葉ロマンの里づくり部会)

東近江市指定有形文化財

光明寺(こうみょうじ)七重塔2基

蒲生堂町に所在する光明寺の観音堂の前に石造七重塔が2基並んで建っています。2基とも基礎、塔身、笠、相輪から構成され、石質は花崗岩です。基礎は各面とも輪郭を巻き、格狭間にうざまを彫り、三茎蓮華(さんけいれんげ)を刻出しています。塔身は四方仏を配しています。塔身の上に屋根と軸部を一石で造り出し、木口に反りを付けた笠石を7層重ねています。頂部に相輪を載せています。両塔の外観はよく似ていますが、向かって右の西塔は各部が完備し、高さが4.138mあります。基礎、笠の比高が低く、四方仏の像容、笠の反りなどが古式で、鎌倉時代中期に建てられたと考えられています。

東塔は相輪が後補のもので、基礎から七重の笠石上部までの高さは3.238m、基礎や笠の比高が少し高いことから鎌倉時代後期に建てられたと考えられています。

両塔は、各部がよく揃い、格狭間や三茎蓮華、四方仏の像容など造立年次を比較するうえで、また造立の背景を考えるうえでも非常に貴重です。



ガリ版100の物語 34

～岐阜・ガリ版の展示2ヶ所で開催中～

岐阜県美術館では「グラフィックデザインの曙-加藤孝司とシルクスクリーン」と題して加藤氏の作品を中心に展示されています。中でもガリ版からシルクスクリーンへの孔版画の変遷を知る作品や資料展示をはじめ、ガリ版原紙最後の蟬引き職人の姿を動画などで紹介され大変貴重です。

一方、美濃和紙の里会館では「刷る技術と作品～謄写技術と版画作品～」と題して、「紙に刷る」技術にスポットをあてて、ガリ版印刷や活版印刷の紹介がされています。いずれも2026年3月初旬まで開催されています。



「ガリ版100の物語」
つなごうプロジェクト



「ガリ版100の物語」
LINE公式アカウント



【蒲生地区まちづくり協議会】

大型(金属性)資源回収

12月6日(土)に、大型(金属性)資源回収を行いました。この事業も今年で15年目となり、軽トラや乗用車で不要となった自転車や農機具、鉄くず等が集まりました。

搬入件数は69件、約2tの回収となりました。

ご協力ありがとうございました。



【蒲生地区まちづくり協議会】

東近江市市民活動推進交流会

わくわくこらぼ村

今年のテーマ

『伝えたい!知りたいたい!』

このまちのステキがつながる

東近江市には、地域になくってはならない活動がたくさんあります。そんな活動を多くの人に知ってもらうことを目的に開催しています。

開催日時: 2月21日(土) 10:00~15:30

開催場所: 能登川コミュニティセンター

内容: 展示、ワークショップ、各種販売など

【東近江市市民活動推進交流会実行委員会】

ガリ版体験・年賀状づくり

12月13日(土)午後、応援塾主催の「ガリ版体験・年賀状づくり」をガリ版ホールで開催しました。当日、岐阜からガリ版伝承館の見学に来られた親子の飛び込み参加もあり、みんなでワイワイ言いながら楽しくガリガリ。不安げにそっとロウ原紙をめくると、「オー!」と感動の声。出来上がった年賀状やトートバッグの作品を自慢しながら見せっこ。こんな風に、一人でもたくさんの方に、ガリ版の楽しさを体験してもらいたいね。

蒲生に住む人から出される年賀状は、みんなガリ版で作られているってなったら、蒲生の事もガリ版の事もアピールできるし、そうしたら楽しいだろうと話しながら、これからは、毎年計画しようと決意しました。



【応援塾】



ガリ版で年賀状をつくりました!

ガリ版年賀状づくり教室

12月13日(土)「ガリ版年賀状づくり教室」を開催しました。小学1年生から大人まで12名の参加者があり、講師の指導を受けながら事前に考えてきたデザインをロウ原紙に写し、慣れない鉄筆をガリガリと使い「あ〜やぶれたあ〜」とやり直す姿もありました。

ローラーで印刷する際には、インクジェット紙や和紙など様々な種類の用紙に印刷をして写り具合を比べたり、持参の年賀状に印刷している姿もありました。製版する際に用紙が破れたり、製版し忘れていた箇所を発見したりしましたが、刷り上がった作品は力作揃いでした。

出来上がった作品は、「あかねあーと展」(開催: 1/16~2/1)に出展されますので、多くの方々に見に来ていただきたいです。



【蒲生コミュニティセンター】

再発見

連載

がもうの話

蒲生地区まちづくり協議会
(万葉ロマンの里づくり部会)

151

木製の火の見櫓

滋賀県南部では冬から春にかけては空気が乾燥するため火事などが起こりやすい。そのため消防などを通じて火災予防が呼び掛けられる。今も各地区には消防団があるが、かつては青年団や若者組などがその役割を果たしていた。

各地区には火事などが起きた際に打ち鳴らす半鐘が火の見櫓などに備えられていた。火の見櫓は集落の中央にあり、木製で梯子状のものが多かった。東近江市御園地区には木造の櫓台も多く見られた。その後には金属製の櫓も造られた。半鐘の代わりに、寺の梵鐘を使う地区もあった。ところによっては、半鐘の打ち方の譜面が櫓の近くに掲示されていた。

木製の火の見櫓は20世紀末頃まで残っていた地区もあるが、今では見られなくなっている。

鈴区では、集落中央からグラウンド横に移転して保存し、かつての村の暮らしの姿を伝えている。梯子状の形態で、補強のために別木が添えられ、足の懸かる横木は金属の棒で代替されていた。現在では半鐘は外されている。



鈴の火の見櫓(1975年)



蒲生コミュニティセンター

☎0748-55-0207 IPO50-5801-0207 FAX0748-55-3898
(申込み・問合せ受付時間) 9:00~17:00

友達募集中
LINE公式アカウント
ID@508qfqtn



▶ 蒲生わいわいサロン ※申込要 【日 時】2月18日(水) 10:00~11:30

【内容】多肉植物の寄せ植え体験 ~手のひらサイズの小さな癒し~

飲み物もご用意しています。
心も体もあたたまりましょう。

手のひらサイズの可愛いらしい多肉植物の寄せ植え体験をします。
寄せ植えを楽しみながら、育て方のコツも学べる内容です。
植物に触れながらわいわいと笑顔あふれる時間を過ごしましょう!

【講師】北川恵理さん、北川洋基さん (Ichirensou)

【場所】蒲生コミュニティセンター 小ホール

【参加費】100円 【材料費】500円 (当日、受付でお支払いください)

【持ち物】ピンセット、持ち帰り袋 【定員】25名

〈申し込み受付〉コミセン窓口へ申し込みください。(電話可) 1月14日(水)~2月1日(日)



作品例

蒲生コミュニティセンター施設案内

サークル活動、地域コミュニティ活動
などにご利用ください!

学習室 1



12人

学習室 2



36人

学習室 3



18人

学習室 4



12人

学習室 5



60人

学習室 6A・B



各 25人

学習室 7



90人

調理実習室



24人

多目的室



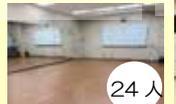
30人

工芸室



18人

視聴覚室



24人

小ホール



150人

詳細、使用料金表はこちら▶



▶ 教室・講座の詳細は、QRコード
を読み込み、チラシをご覧ください。

【2月休館日のお知らせ】2月3日(火)、4日(水)



【蒲生コミュニティセンター利用申請方法】

※3か月前から申請受付開始

▶ 窓口申請 (開館日9時~17時)

▶ インターネット申請 (仮予約)

「東近江市公共施設予約システム」ID・パスワード事前取得
料金は、2週間後の支払い期限までに支払いください。

※小ホールの利用申請は、窓口申請のみです。

詳しくは、事務所へお問い合わせください。



蒲生地区地域教育協議会からのお知らせ

あかねっ子フェスタ案内

日時 3月1日(日) 10:00~15:30

場所 あかね文化ホール

蒲生コミュニティセンター

内容 ・マックスクラブ発表会

・体験およびバザーの出店

・スタンプラリー

・ビンゴ大会 などなど

皆さんそろってお越しください!



My クリニック 長峰診療所

2月の診察日・元氣塾のお知らせ

4(水): 夜診(内科)

6(金): 午後診(小児科)

14(土): 午前診(内科)

13(金): 午後診(小児科)

18(水): 夜診(内科)

20(金): 午後診(小児科)

25(水): 夜診(内科)

27(金): 午後診(小児科)

28(土): 午前診(内科)

12(木): 元氣塾

26(木): 元氣塾

※(15:00~1時間程度)

※午前診
(9:00~11:30)

※午後診
(14:00~15:30)

※夜診
(17:30~19:00)

長峰診療所の診察日や「ながみね
元氣塾」の情報を発信中!!

診察日の最新情報を... →
お友だち登録で情報を... →



◇長峰地区だけでなく、どなたでも診てもらえます!

◆予約電話番号(長峰診療所): 0748-45-2175 [長峰診療所対策チーム]

わいが屋@せせらぎで楽しいひと時を♪

2月の開催案内

2/19
(木)

13:30~15:00
健康体操と脳トシテ

どなたでも
参加できます!

身体と脳を活性化!

場所
問合せ

東近江市社会福祉協議会 蒲生事務所せせらぎ
東近江市市子川原町 676-1

TEL 0748-55-4895 IP 050-5802-2528

【蒲生地区第2層協議体「わいがや支え合い蒲生」】

蒲生まち協会員は、蒲生地区に住んでいる一人ひとりが会員です。



がまチョコに皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

Email: gamomachiko@e-omi.ne.jp TEL/FAX: 0748-55-3030

←がまチョコのバックナンバーも見られます。

蒲生地区まちづくり協議会 (広報企画委員会)

■蒲生地区の人口

(令和8年1月1日現在)

人口: 13,910人(-18)

男性: 6,935人(-8)

女性: 6,975人(-10)

世帯数: 5,682(+1)

※()内は前月比